

平成18年度第1回和光市次世代育成支援対策地域協議会会議録

日時 平成19年3月22日(木)午前10時~12時  
場所 和光市役所第二委員会室  
出席者 森田副委員長 中尾委員 小野委員 長谷委員 山本委員 待鳥委員 五十嵐委員  
(欠席者 高橋委員長 山田委員 田川委員 須永委員)  
事務局 石川保健福祉部長 久保こども福祉課長 岸本課長補佐 石塚副主幹 亀井統括主査  
傍聴者 なし

1 開会

副委員長が、委員長欠席のため議長を務める旨を宣言し、開会。  
事務局から、委員の出欠席の状況と会の成立を報告。

2 事務局紹介

3 久保課長から、市の子育て支援についての取り組み状況を説明

4 議事

和光市次世代育成支援対策地域行動計画の推進状況についての質疑応答  
主な意見等

「ファミリー・サポート・センター事業の充実」について

・委員質問：夜間事業の宿泊の詳細を教えて欲しい。

事務局回答：夜間養育ができない依頼会員が平日1泊8,000円(土・日1泊9,000)を負担し、協力会員宅でこどもを預かってもらう事業である。

・委員意見：利用しやすい料金設定の検討をしていただきたい。

「乳幼児医療費助成事業」について

・委員意見：窓口支払いの撤廃は、評価に値するので、万全の体制で10月から実施して欲しい。

「保育園4・5歳児を対象としたチャレンジドへの理解の促進事業」について

・委員質問：計上されている予算の事業内容を教えてほしい。

事務局回答：社会福祉課が所管する、障害者スポーツ大会への参加を通じて、チャレンジドへの理解を深めようとするものである。

・委員質問：「放課後児童健全育成事業の拡充事業」で、緊急時の延長対応の検討をされているか。

事務局回答：全保育クラブが指定管理者制度を導入しているため、指定管理者と協議の上、可能であれば検討していく。

委員意見：緊急時は、行政だけを頼るのではなく地域を頼ることも必要ではないか。

- ・委員質問：「育成支援家庭訪問事業」は、どのような効果があるのか、また、どのような家庭訪問指導が行われているのか。

事務局回答：保健センターの健診等から情報を得て、子育てのストレスやうつ状態家庭に対し、状況をみながら対応を行っている。面接をした結果、家庭訪問をする状況にはないこともあり、明らかな効果は、見えていない。

- ・委員質問：「養護学校の学童保育の支援事業」では、待機している人が10名いるが、市としての考えを聞きたい。

事務局回答：運営費については、月額3,000円の市の単独補助を実施しているが、運営状況は大変だと認識している。そのため、平成19年度は補助額を5,000円に上げることとした。

- ・委員意見：資料が見にくいので、今回はページの設定と関連事項を記載してほしい。

- ・委員質問：「幼児健全発達支援相談指導連絡調整会議の推進」についての進捗状況は、どうか。

事務局回答：保健センター主催で、2月に会議があったが、現在のところ顕著な成果はない。

- ・委員質問：「乳幼児発達相談」で「よく取り組めた」にマルがついているが、相談した方が満足度してないと、ただ相談を受けたということになるのではないか。

事務局回答：相談を受けた人が本当に評価をしたのかを検討すべきであると考えている。どのように評価すべきか検討したい。

- ・委員質問：「子育て支援センター」は、平成19年度から日曜日が休みになり、日曜日は行く場所がない。全ての施設で、日曜日を止めてしまったのか。

事務局回答：しらこ・みなみ支援センターの平日利用は市民が多く、日曜日は市外の利用者が多い傾向がある。そのため、平日の母子利用の促進と平日の事業を充実するため、利用者のアンケートと両施設の運営委員会での審議を経て、休みを変更した。さらに、防犯上の意味もあった。

## 地域行動計画の目標指標の変更についての概略説明

### ア 通常保育事業

### イ 放課後児童健全育成事業

の目標数値を変更したい。

アの通常保育事業で平成20年度開園予定の（仮称）白子二丁目保育園で定員90人増、みなみ保育園分園で定員18人減とし、目標指標を「定員1,045人」と変更したい。

イの放課後児童健全育成事業は、「定員575人、9ヶ所」から「585人、10ヶ所」に変更したい。理由は平成19年4月に南地域センター保育クラブを設置するためである。また、北原保育クラブの定員を学区見直しによる児童数増加のため、5人増の45人とし、南保育クラブは、過密状態のため、定員を90人から70人に引き下げる。

意見なし。同意。

以上